

災害時要援護者避難支援制度の取組事例

1 支援組織概要

組織名：月見台自治会（多摩区）

世帯数：約590世帯

2 取組概要

自治会を中心に普段から地域のつながりを重視しており、各種のイベント開催などを通じてまちぐるみで要援護者の支援を行う意識の醸成を図るとともに、発災時には早めの安否確認を行うことを大事にしています。

地区を3つに分け、地区別に支援体制を整えておくことにより、いざという時には近所の方が素早く支援を行えるような体制を組んでいます。

3 取組経過等

昭和36年の自治会設立以降、地域全体で高齢者の見守り等を行ってきましたが、平成19年に災害時要援護者避難支援制度が開始されたことから、これを契機に支援体制を構築するとともに、支援ガイドなどを参考にしながら取り組んできたところです。平常時から自治会、民生委員、まちづくり委員会（地域のボランティアグループ）が連携し、活発に意見交換を行いながらよりよい支援に向けて検討を重ねています。

4 取組詳細

1 登録者数・・・22名

2 支援者・・・登録者一人に対して概ね2名

*自治会の地域を3つの地区に分け、地区ごとに自治会役員、組長、防災協力員、まちづくり委員、民生委員（約10名）を支援者としています。

3 取組方法

<初回訪問>

- ・自治会の社会福祉部長から名簿登録者に訪問の連絡を入れ、面談を行っています。
- ・初回訪問時には、名簿登録者の健康状態やご家族の連絡先、望まれる支援等をヒアリングします。その際に、自治会の防災組織を説明し、発災時に安否確認や避難支援に来る支援者（組長、防災協力員）の方の名前を伝えます。
- ・この他、家具の転倒防止や非常持ち出し品について確認しています。
- ・聞き取った内容や、相談して決めた内容は、個票にメモし、自治会の社会福祉部長が管理するとともに、支援者となる組長、防災協力員、民生委員と情報を共有しています。

<平常時の対応>

- ・民生委員の見守り活動の中で、注意を払っていただくようにしています。
- ・老人会の友愛チームが、日中独居や一人暮らしの高齢者宅を中心に慰問活動を行っており、その中で身体状況等の変化があった場合には自治会に連絡していただくようにしています。
- ・敬老の日に75歳以上の高齢者を訪問し、また自治会のイベント（餅つき、防災訓練）時には、餅

や炊出し食を要援護者の方にお届けすることで、身体状況を把握するとともに、コミュニケーションを図っています。

<災害発生時の対応>

- ・大地震が発生した場合、自治会独自で作成している「被災状況組別報告書」を活用し、組ごとに要援護者を中心に安否確認、状況把握を行います。
- ・要援護者の安否確認は、基本的には組長と防災協力員が行うこととしていますが、必ずしも実施できない状況も考えられるため、自治会役員、まちづくり委員の方も協力することとしています。

5 他団体との連携

<民生委員>

- ・支援組織の一員として自治会と連携し、平常時の見守り活動等を通じて名簿登録者の状況確認を行っています。
- ・発災時には要援護者の安否確認を可能な範囲で実施します。

<地域包括支援センター>

- ・定期的に身体状況の思わしくない方などの情報について、自治会との間で情報交換を行い、必要な場合は制度登録を勧めていただいています。
- ・毎年開催している防災訓練に参加していただき、必要な方へ制度登録を勧めていただいています。
- ・地域包括支援センターが年2回発行する「花ハウス」ニュースを自治会と連携して全戸配布し、制度の紹介等を行っています。

6 工夫している点

- ・組ごとに概ね1人を「防災協力員」として、要援護者の支援活動を組長と一緒にいただいています。
- ・災害時にスムーズな対応を行えるよう、毎年の防災訓練実施時に実際に要援護者に声掛けを行うなど、常に要援護者の状況を確認することとしています。
- ・いざという時は近所の力が大きいため、地域の皆さんの自治会への信頼感を高め、ともに活動していく意識を醸成するために、毎年、盆踊り大会、ふれあいバスツアー、お花見、餅つき等のイベントを積極的に行っています。
- ・防災訓練の案内チラシに災害時要援護者避難支援制度を案内するスペースを設け、制度の紹介をするとともに、必要な方への登録を呼びかけています。

7 取組成果

- ・毎年行っている防災訓練や日ごろからのミーティングの中で、要援護者対策についての意識向上が図られており、地域全体で取り組む風土が培われています。
- ・このため、支援者以外の方が要援護者の状態の変化に気づいた場合など、自発的に自治会役員に情報提供がなされるようになりました。
- ・民生委員、地域包括支援センターとの連携や地域住民からの情報によって、要援護者の把握がきめ細かくできています。

8 その他



2014年度月見台自治会防災訓練



本部テントで各地区ごとに受付、安否確認表提出



地区ごとのスタンドパイプ設置・放水訓練



自治会、民生委員、地域包括支援センター、避難所運営委員会、消防署等多くの方が参加